

## 6. 本シンポジウムや研究会についてご自由にご記入ください

(原文のまま)

- ・船曳きもやって欲しい。
- ・敢えて多業種、広い業界の方々をパネリストに呼んで、多様な視点から議論を展開できるようにセッティングされていることに共感を持ちました。
- 大変意義のあるシンポジウムだったと思います。
- ・最終的な効果の定量化にも力を入れて欲しい。
- 個別具体的な技術は、既に高いレベルにあるのではないか。
- ・本研究会は、おそらく庁内でも幅広く知られていない。水産庁の職員として、恥ずかしいところでもあるが、もっとアピールし、マスコミを入れる、などするのも手ではないか。
- ・かなり昔から問題は皆が共通で認識しているが、明確な進捗がみられない。
- 解決の糸口がつかめない。川口会長の発言のとおり、魚の安定供給に対する国民全体の危機感が必要？全体で代価の支払いが必要？
- ・消費者のコメンテーターが出てこないのは、なってない様に思う。
- ・もっとアカデミックな部分があっても良いのではないのでしょうか。
- ・魚価を高める工夫は、ミクロ的には良いかも知れないが、マクロ的な解決にならないのでは？儲かっている漁業を見てみたい。
- ・更なる活性化に期待したい。
- ・内容が非常に充実していた。
- ・議論を絞って行くためのテーマ設定が望ましい。研究大会を続けて行く中で、幅広いテーマと絞り込みが交互に行われるような設定がないと、議論が拡散してしまいがちである。
- ・スクリーンが後方からも見えるように、斜めに傾けられませんか？
- ・漁業者と消費者の接点のためには、シンポジウムか研究会に消費者も参加。
- ・勉強会的な催しだと、面白味に欠けるのでは。もっとソリッドな課題に特化。
- 議論巻き起こすような刺激的な進行にしても良いのでは？
- ・大変勉強になりました。その他の漁業種類でも研究会を開催して欲しい。
- ・まだ、何も知らない大学2年なので、現場の生々しい意見が聞けて良かったです。
- 今後の研究に生かしたいと思います。
- ・結果論であるが、「消費者への啓蒙が大事であり、～の活動をすべき」との意見は多く出てきたが、「消費者はどう思っているのか」を述べる人が居なかった。そのような意味で、次は消費者に詳しい人を呼んでも良いと感じた。
- ・小型漁船漁業の開発研究が行われるようになって良かった。刺網や釣り等の研究も行って欲しい。これらは技術の伝習面にも役立つと思う。
- ・今日の内容の多くは対処療法であると感じた。なぜ魚価が低迷してきたか、養殖、輸入など水産業全体の問題と併せて議論しなければ、抜本的な解決はなく、このままジリ貧になっていくだけではないか。
- ・漁業全体の問題についての議論が多く、小底に絞りきれなかった感がある。
- ・もう少し具体的なモデル事例の紹介があると思っていたが？
- 様々な立場の方からの話を聞いたことは参考となった。
- ・今後も続けて貰いたい。
- ・西原さんは大ヒットだと思います。違った視点から興味深い話が聞けました。
- ・それぞれの方の話が面白く聞けた。
- ・とても広く意見が聴けたので有り難かった。
- ・販売を通して漁業を改革していく狙いは理解できる。
- ・問題解決に対する、ロジカルなまとめ(方針、戦略)が必要
- ・面白い取組み。
- ・ポイントをしっかり絞った討論が出来ていて良かったと思う。
- ・もっとアピールして良いのでは？今回の様な現場と流通、行政、研究を結び付ける必要が今後重要だと思う。小底は良いテーマだったと思う。継続してやって欲しい。
- 次は消費者にも来て貰えるようなシンポジウムをやってはどうでしょうか。
- ・飛行機に乗って、はるばる来た甲斐がありました。有り難う御座いました。